

## 令和 8 年度チャレンジプロジェクト

### E. グローカル視点で多文化共生を考える国際事業

5月13日(水)に、ピブソンクラム・ラチャパット大学より、タイの学生3名が来校し、国際交流を行いました。午前中は、伝統文化体験を本校生徒と行い、午後は、授業での交流を行いました。

〈午後の体験内容〉

・5時間目:タイ語講座、タイに関するクイズ(3年5組)

本校を訪問して下さったタイの方々からタイに関するクイズを出題し、3年5組の生徒達がそれに答えるという形で相互理解が進みました。後半は、タイ語での挨拶を学び、男性と女性で使用する言葉が異なることを学びました。タイ伝統のお祭りや国の花などについて、時にユーモアを交えながら、楽しい授業を展開していただきました。改めて、「アジアの仲間」であるタイについて興味・関心を深めることができた有意義な時間でした。

〈生徒の感想〉

- ・私はタイのことを何も知らないな・・・と改めて感じました。サワディーカー！！
- ・タイの文化やタイの言葉をたくさん知ることが出来て良い交流でした。
- ・サワディーカッが挨拶のいろいろな場面で使えることが分かった。



・6 時間目: 体育(2年 1 組)

タイの学生 3 名が、タイのダンスを披露してくださり、皆で踊りました。後半は、バドミントンを行いました。

〈生徒の感想〉

・タイの踊りを通して、その国の伝統的な踊りに触れてタイの人達は小さい頃から踊りの基礎を身につけて踊るという話を聞いてすごいなと感じました。

・タイのダンスを通して、交流ができた。私はタイの方と直接話せたわけではないけれどダンスを通じて心が通じあえた気がした。

・一緒にバドミントン対決をして楽しかった。去年来校したタイ人の方に教えてもらったタイ語を使って挨拶できた。

・タイの伝統的なダンスの基礎を教えてくれてとても楽しかったです。みんな笑顔で接してくれて関わりやすかったです！

・一緒にバドミントンしたり、話したりしてとても楽しかった。タイの踊りは自分にとってとても難しく、とくに指の角度とかが難しかった。

・最初はダンスが難しかったけれど、近くに寄って教えてもらったことで指の動きや足の運びを細かく知ることができました。また、凄く日本語が上手いと感じました。

・最初はダンスが難しかったけれど、近くに寄って教えてもらったことで指の動きや足の運びを細かく知ることができました。また、凄く日本語が上手いと感じました。







お世話になった皆様、貴重な機会をいただき、ありがとうございました。